

授業概要

この授業では、中国語会話に役立つ実践的な表現を増やし、教員やクラスメートとの会話練習などを通して中国語の運用能力を身につける。中国関連の視聴覚資料を通して中国現代社会、中国文化、中国歴史などに対する理解を深める。また、中国語検定試験の受験、スピーチコンテストの参加などに関するサポートをする。

授業計画

| | |
|-------|-------------------|
| 第 1 回 | 第1課～第6課の復習 |
| 第 2 回 | 第7課 存在を表す表現など |
| 第 3 回 | 第7課 練習問題 |
| 第 4 回 | 第8課 時間量を表す表現など |
| 第 5 回 | 第8課 練習問題 |
| 第 6 回 | 第9課 過去の経験を表す表現など |
| 第 7 回 | 第9課 練習問題 |
| 第 8 回 | 中間復習 |
| 第 9 回 | 第10課 「できる」を表す表現など |
| 第10回 | 第10課 練習問題 |
| 第11回 | 第11課 動作の進行を表す表現 |
| 第12回 | 第11課 練習問題 |
| 第13回 | 第12課 比較の表現 |
| 第14回 | 第12課 練習問題 |
| 第15回 | まとめ |
| 第16回 | 定期試験 |

到達目標

この授業は次の2点を主な目標とする。

- ① 中国語の基本的な文法事項と実践的な会話力を身につけること。
- ② 中国の社会、文化、歴史に対する理解力を高めること。

履修上の注意

中国語は「発音良ければ半ばよし」という言葉があるように、授業以外の時間を利用して教材の発音を聴きながらたくさんの発音練習を行う努力が必要である。なお、この授業は中国語Ⅰの履修合格者を対象とする。

予習・復習

外国語は決して一朝一夕で習得できるものではない。また、授業の時間だけでは不十分である。授業以外の時間を利用して復習と予習を確実に行ってから、授業に参加すること。

評価方法

期末試験（50%）、練習問題（35%）、授業態度（15%）

テキスト

- ・教科書名：最新2訂版 中国語はじめの一步
- ・著者名：竹島金吾監修、尹景春著、竹島毅著
- ・出版社名：白水社
- ・出版年（ISBN）：9784560069257